

**2019年 春学期**

# **社会科教材論 第7回**

**討論形式の授業資料作り(1):  
討論形式の授業を分析する**

# 【確認】この授業で大切にしたい視点

1. 教材作りを単なるテクニツク的  
な問題と考えないこと
2. 「良い教材って何だろう？」と  
いう問いをめぐって、自分の心境・  
考えの変化について、向き  
合うこと
3. 完成品の教材の完成度よりも、  
「教材を作るプロセス」に注  
目・意識すること

# 今日の授業の目的共有

1. 討論形式の授業スタイルについて、その大まかな特徴をつかむこと
2. 「教材作りをするために教材研究が必要である」ということの意味を実感すること( 授業を作る前に、教師自身が最初の学習者になる )
3. グループと論点を決定し、次回までの流れを把握すること

**授業やります**

# 今後4回の授業の流れ

**第7回** 討論形式の授業資料作り(1): 討論形式の授業を分析する

**第8回** 討論形式の授業資料作り(2): グループで実際に討論をして、討論用の資料の構想を考える

**第9回** 討論形式の授業資料作り(3): 討論用資料を作成する

**第10回** 討論形式の授業資料作り(4): 20分の討論授業の実践と振り返り

# 今後4回の授業の流れ

## 第7回 討論形式の授業資料作り(1): 討論形式の授業を分析する

討論形式の授業の概要・ポイントを資料などで確認し、自分が取り扱う討論の論点を決める。事前課題を確認する。

## 第8回 討論形式の授業資料作り(2): グループで実際に討論をして、討論用の資料の構想を考える

事前に討論のために準備した資料を基に、グループで討論する。各々が持ち寄った討論資料をもとに、意見の割れる資料を吟味する。次週までの役割分担を決める。

# 今後4回の授業の流れ

## 第9回 討論形式の授業資料作り(3): 討論用資料を作成する

討論資料を再吟味し、20分の授業の流れ、導入の提示資料などを身内で実践・吟味する。最終調整をする。

## 第10回 討論形式の授業資料作り(4): 20分の討論授業の実践と振り返り

20分の模擬授業を実施する。自分たちが実践するとき以外は生徒役に回る。授業後5分は生徒役の振り返り、一通りの授業が終われば、グループごとで振り返る。

# ことばの整理

## 議論

子ども同士が何らかのテーマについて考えたことを共有したり、意見交換する。

## 討論

賛成・反対などの対立した意見について、意見をぶつけあう・説得しあうような活動全般を指す。

## ディベート

討論の一種だが、賛成派・反対派が順番に弁論を行い、審査員がディベートの勝敗を決する。

授業作りの方針が明確で、  
融通が効きやすい。



# 今回の授業作りの形式について

**5分** 導入・論点の明確化(資料を配布する)  
役割決め

**3分** 生徒役の考えの明確化(ワークシート記入)

**5分** 討論①

(より詳しい論点がわかる資料を配布する。)

**7分** 討論②(最初の1~2分は読み込みでもOK)

※今回は短時間で構想・実施をお願いしているので、このような方法を提示しますが、これがベストという話では全くありません。

※授業は「まとめ」まで行かなくてもよいです。

※授業後に感想シートを生徒役に4分で書いてもらいます。

# なぜ、討論授業を作ってもらおうのか？

## メリット1

地歴公の統一的な前提の中で、授業作りの流れを皆で共有できるから。

## メリット2

教材研究→教材作り→提示資料の最終吟味のプロセスを皆さん自身がグループで協力して進めやすいから。

## メリット3

教科書以外の調査活動(本腰を入れた教材研究)が確実に必要になってくるから。

# 参考情報①

## 1. 中学校教科書(公民的分野)より

- ・「これからの消費税を考えよう」
- ・「15歳は『子ども』?それとも『大人』?」
- ・「一票の格差の問題を考えよう」

## 2. ディベートの授業より

論題「太平洋戦争は、日本政府にとって避ける  
ことのできた戦争だった。」について

※いずれも、特定の論点に関する賛否の根拠を  
示して議論を促している。

## 参考情報②

**3. 資料「討論論題一覧」について  
(いずれも雑誌や本などから探して  
列挙しています。)**

**4. 昨年度の都立高校での実践など**

# グループとテーマを決めます。

1グループあたり、4~3人程度になる。

## 【テーマ一覧】

1. 現在の日本の食料自給率を高めるべきか？それとも輸入に頼るべきか？(地理)
2. 英国はEUから離脱すべきか？(地理)
3. 聖武天皇の国分寺建立と大仏建造の決断は実行されるが、それは強権か、社会的合意なのか？(歴史)
4. 承久の乱で、あなたたちが御家人なら、朝廷と幕府のどちらに味方するべきだと思いますか？(歴史)
5. 内政不安国に国連が関与すべきか、すべきでないか？(公民)
6. ふるさと納税は廃止すべきか、すべきでないか？(公民)

**次回にやること**

**次回までに  
やってほしいこと**

## 次回の授業でやること

**今日決めた討論テーマについて、グループ内で実際に討論してもらいます。**

**その際に、武器となるのが「エビデンスカード」です。討論の際には、エビデンスカードを用いて、相手を説得して下さい。**

**その際に、調べた情報をエビデンスカードに書いてきてください。(エビデンスカードを配布します)**

**エビデンスカードは、グループで協力して作るのではなく、個々人で独力で作ってきてください。**

# 次回までにやってきてもらいたいこと

エビデンスカードは少なくとも4枚以上つくってください  
(多い分には構わない)。なお、3つ以上は書籍から得て  
きてください。

インターネットから手に入れた情報は、該当ページを印  
刷してきてください(証拠がわかる1ページで良い。)

授業教材にふさわしいかどうかは、次週の授業で考え  
ますので、今は、「大学生レベルの」教材研究力・情報  
収集力が試されていると思って、全力で調べてください。

※教員自身が能力的に出来ないことを生徒にやらせるのは  
酷ですし、調べる能力が教員側に無いと、そもそも授業作りの  
選択肢がないとも言えます。



# 「振り返り・記録シート」の記入

この授業では、「自分の教材観から見える、授業観」を見つめることを重視します。

自分の考えの変化、違和感、モヤモヤ感を出来るだけ、言語化するようにしてください。

(後で、自分の授業観を振り返るための重要な記録になります。)

これまでの感想と比べて、心境に変化はありますか？。

## 「第7回 社会科教材論： 討論形式の授業資料作り(1)：討論形式の授業を分析する」の配布資料

### 資料 1

#### 手段としての討論的授業の意義

討論とは、いうまでもなく、議論を闘わせることである。そこから、「討論とは、自分とは異なる意見の他者を説得・論破するために行う口頭によるコミュニケーションである」とみなされてくる。この考え方に立てば、討論的授業とは、子どもに意見を闘わせ、ある問題に対して、考えられる「答え」の中から、最も優れたものを選ばせる、つまり論理的に結論を出させ、決着をつけさせる営みを目的とする、ということになる。その過程で子どもは、「自・他を認識」し、「自・他を認識することによって学習の意味をも知る」ことができるようになるからである。

一般的には、まさにその通りであろう。しかし社会科の場合はどうであろうか。必ずしもそうとは言えないような気がする。社会科は、むしろ逆に考えてみたい。つまり、討論的授業は手段として考えるべきであって、目的として考えるべきではない、と。

では、何のための手段なのか。「子どもの追究力を高めるため」の手段であり、社会事象を鋭く捉えさせるための手段である。そのために有効に仕組まれるべきもの、それが討論的授業だ。これが私の基本的な考え方なのである。

こう考えると、社会科における討論的授業は、学習者が自分の意見をもたない限りむずかしいなどと言って欺く必要はない。また、単元の展開部分でも、終末部でも、それぞれに仕組むことは可能であり、また有効に仕組まれるべきだ、と思うのである。

一方、社会科の授業においては、教師の予想もしない子どもの発言が飛び出し、それをめぐって白熱した討論が展開されていく、ということも起こり得るし、それがまた望ましい場合もあろう。つまり、討論的授業といっても、教師が落着的に仕組む場合だけでなく、自然発生的に成立してくる場合も想定しておかなければならない、ということなのである。

(片上宗二(1989)「長岡・高橋実践にみる討論授業の意義——手段としての優れた討論的授業の姿」『教育学 社会科教育』No.324, 明治図書, pp.5-6.)

### 討論論題一覧

#### 地理的分野

・自然環境の違いは、住居よりも衣服によく表れている。	松尾・佐長, 1995
・日本は熱帯林の木材輸入をやめるべきである。	松尾・佐長, 1995
・身近な地域における社会的論争問題を取り上げる。 (例：有明海に国際空港を建設するべきである。)	松尾・佐長, 1995
・新石垣空港を建設するべきである。	松尾・佐長, 1995
・首都を東京から移転するべきである。	松尾・佐長, 1995
・東京湾の埋め立てはやめるべきである。	松尾・佐長, 1995
・コメの輸入完全自由化によって、米作農家は壊滅する。	松尾・佐長, 1995
・日本の行っているODAは、減額すべきである。	松尾・佐長, 1995



<ul style="list-style-type: none"> <li>・農民は検地に賛成か、それとも反対か？</li> <li>・検地帳に名前を書かれることは、農民にとって得か損、どっち？</li> <li>・農民の背中に載っている僧と貴族、どっちの方が悪者？（フランス封建社会）</li> <li>・北部と南部、どちらに住みたいです？（19世紀のアメリカ）</li> <li>・ペリーの要求に対し、阿部正弘は、天皇から農民まで意見を聞いた。正しかったのだろうか？</li> <li>・坂本龍馬は幕府に味方したのか？それとも薩長に味方したのか？</li> <li>・地租改正の三パーセントは重い？軽い？</li> <li>・ポーツマス条約の内容を知った国民は、喜んだのか？</li> <li>・好景気になると、民衆の生活は楽になるのか？（第二次大戦前の日本）</li> <li>・アメリカとソ連どっちが悪い？（ベトナム戦争）</li> <li>・承久の乱、あなたが御家人なら、朝廷と幕府のどちらに味方しますか？</li> <li>・幕末の日本の課題を解決するための政策としては、鎖国と開国ではどちらの方がより望ましかったのか？</li> <li>・稲作が始まって暮らしは楽になったのか？（吉野ヶ里遺跡）</li> <li>・邪馬台国はどこにあったのか？</li> <li>・人々は天竺づくりに喜んで参加したか。いやいや参加したか？</li> <li>・この絵(蒙古襲来絵詞)の「てつはう」は、どちらからとんできたでしょう？</li> <li>・太閤検地により、農民のくらしは豊かになったのだろうか？それとも貧しくなったのだろうか？</li> <li>・明治政府の富国強兵策に賛成か、反対か？</li> </ul>	<p>松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 松本, 1997 山内, 2011 小原, 2011  西尾, 2011 飛田, 2011 松本, 2011 佐藤, 2011 新地, 2011  千葉, 2011</p>
--	---

## 公民的分野

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイドショー（テレビ番組）をなくすべきである。</li> <li>・夫婦別姓を認めるべきである。</li> <li>・自衛隊は、軍事的貢献を含むPKOに参加すべきである。</li> <li>・死刑制度は廃止すべきである。</li> <li>・多党制よりも二大政党制の方がすぐれている。</li> <li>・地方分権をさらに進めるべきである。</li> <li>・直接税を減らして、間接税を増やすべきである。</li> <li>・希望小売り価格は、なくすべきである。</li> <li>・老人は老人ホームで介護するべきである。</li> <li>・外国人労働者を積極的に受け入れるべきである。</li> <li>・日本は国連の常任理事国になるべきである。</li> <li>・日本は、進んで自由貿易を行うべきである。</li> <li>・65歳は高齢者と見なせるか？</li> <li>・日本はTPPに参加すべきか？</li> <li>・日本の企業が海外へ生産することに賛成か反対か？</li> <li>・脱検発か、再稼働か？</li> <li>・原子力発電所の再稼働か火力発電所の増強か？</li> </ul>	<p>松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 松尾・佐長, 1995 石本, 2013 佐長, 2013 中野, 2013 小田, 2013 中澤, 2013</p>
---	---



中澤静男 (2013)「環境問題で討論：ジレンマ型ネタのベスト 3」『社会科教育』No.656, 明治図書.

日下部和広 (2013)「災害問題で討論：ジレンマ型ネタのベスト 3」『社会科教育』No.656, 明治図書.

須本良夫 (2013)「生産と消費の問題で討論：ジレンマ型ネタのベスト 3」『社会科教育』No.656, 明治図書.

藤原隆範 (2013)「世界遺産登録で討論：ジレンマ型ネタのベスト 3」『社会科教育』No.656, 明治図書.

戸田佳孝 (2013)「中学公民 この教材資料でミニ討論・ネタ一覧」『社会科教育』No.656, 明治図書.

草原和博 (2013)「戦後国家体制の出発点と将来像を根源的に問いかける」『社会科教育』NO.645, 明治図書

原田智仁 (2013)「英首相チェンバレンの対独融和政策は失敗だったのか？」『社会科教育』NO.645, 明治図書

田尻信〇 (2013)「奴隷解放か、それとも奴隷制度の存続か、南北戦争での林間大統領の決断」『社会科教育』NO.645, 明治図書

原健一 (2013)「北方領土の争点が見えてくる 歴史の見方考え方」『社会科教育』NO.645, 明治図書

中村俊哉 (2013)「エネルギー環境問題の争点が見えてくる 地図の見方考え方」『社会科教育』NO.645, 明治図書

石本貞衡 (2013)「エネルギー環境問題の争点が見えてくる 歴史の見方考え方」『社会科教育』NO.645, 明治図書

大坂誠 (2013)「憲法改正の争点が見えてくる 歴史の見方考え方」『社会科教育』NO.645, 明治図書

石川祐基治 (2013)「民主主義の争点が見えてくる 世界の国々の状況」『社会科教育』NO.645, 明治図書

内藤圭太 (2013)「民主主義ってなんだ 中学校・授業作りのヒント」『社会科教育』NO.645, 明治図書

井川和道 (2013)「古代史：この人の決断をディベート！」『社会科教育』NO.645, 明治図書

萩原浩司 (2013)「中世史：この人の決断をディベート！」『社会科教育』NO.645, 明治図書

瀬戸勝 (2013)「近世史：この人の決断をディベート！」『社会科教育』NO.645, 明治図書

岡野英輝 (2013)「近代史：この人の決断をディベート！」『社会科教育』NO.645, 明治図書

小宮宏 (2013)「現代史：この人の決断をディベート！」『社会科教育』NO.645, 明治図書

笠川武弘 (1997)「討論会の手法をどう取り入れるか」『社会科教育』No.436, 明治図書.

松本和也 (1997)「中学歴史『話し合い・討論』が深まる題材・学習問題一覧」『社会科教育』No.436, 明治図書.

林原和彦 (1997)「中学公民『話し合い・討論』が深まる題材・学習問題一覧」『社会科教育』No.436, 明治図書.

山内秀則 (2011)「子ども自身が時代の当事者となり自らの知を活用できるテーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

小原友行 (2011)「『意思決定型』の討論テーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

西尾文昭 (2011)「吉野ヶ里遺跡で討論 選ぶならこのテーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

飛田政彦 (2011)「卑弥呼で討論 選ぶならこのテーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

松本俊樹 (2011)「奈良の大仏で討論 選ぶならこのテーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

佐藤琢朗 (2011)「元寇で討論 選ぶならこのテーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

新地比呂志（2011）「太閤検地で討論 選ぶならこのテーマ」『社会科教育』No.630, 明治図書.

## エビデンスカードの記入方法について

以下、エビデンスカードの記入方法について簡単に説明します。  
不明な点があれば、いつでも齊藤まで直接 or メールで相談してください。

### 1. 「見出し」について

- ・ 見出しは、調べた内容を一言で示すフレーズ or 一文を書いてください。（次週に持ち寄った大量のエビデンスカードが並んだ時に、一目でわかるようにするためです）

### 2. 「名前」について

- ・ 自分の名前を書いてください。

### 3. 「出典」について

- ・ 出典は、本であれば、著者、本のタイトル、出版社、出版年、該当するページ数を書いてください。
- ・ 論文や記事などであれば、その文章を第三者が見つけれられる程度の詳しい情報を書いてください。
- ・ インターネットを利用する際は、URL とページのタイトルを記載した上で、該当部分がわかる箇所を一枚印刷してきてください。なお、信頼性が明確でないネット情報（例えば、SNS やブログ、まとめサイトなど）はエビデンスとしては認めません。

### 4. 「この情報を見つけた経緯」について

- ・ 簡単に、いつどこで、どうやって見つけたかについて書いてください
- ・ 教材研究のプロセスについてのノウハウを共有する上で、とても大切になります。

### 5. 調べた内容

- ・ 出来るだけ詳しく書いてください。
- ・ 図表や数字、写真、実際の史料などがあると説得力が高まります。それらの情報があれば、A4 一枚以下の大きさをコピーし添付提出してください。

### その他の留意点

- ・ 海外や過去の事例など、様々な情報を調べてきてください。
- ・ エビデンスカードは後日に皆で共有するので、ある程度丁寧な字（読める字）で書いてください。
- ・ エビデンスカードは必要に応じてコピーで増やして良いです。（指定の項目が入っていれば、追加分は、手作りのエビデンスカードを提出してもらっても OK です。）
- ・ 今回は手書きでエビデンスカードに記入をお願いします（授業実施の際には、中学生に手書きで書いてもらうと思うので。）
- ・ エビデンスカードの情報は最低 3 枚は本から持ってきてください。
- ・ エビデンスカードの提出は最低でも 4 枚ですが、調べ学習に熱中した主体的な中学生（皆さんが理想に描く像でもいいです）のように、多くのエビデンスカードの提出を期待しています。



## エビデンスカード

【見出し】	名前
【出典】  ※出典は、例えば本であれば、著者、本のタイトル、出版社、出版年、該当するページ数を書くこと ※インターネットを利用する際は、URL とページのタイトルを記載した上で、該当部分がわかる箇所を一枚印刷してこること。なお、信頼性が明確でないネット情報はエビデンスとしては認めない。	
【この情報を見つけた経緯】（簡単に、いつどこで、どうやって見つけたか等。後に経緯も含め共有します。）	
【調べた内容】	

## エビデンスカード

【見出し】	名前
【出典】  ※出典は、例えば本であれば、著者、本のタイトル、出版社、出版年、該当するページ数を書くこと ※インターネットを利用する際は、URL とページのタイトルを記載した上で、該当部分がわかる箇所を一枚印刷してこること。なお、信頼性が明確でないネット情報はエビデンスとしては認めない。	
【この情報を見つけた経緯】（簡単に、いつどこで、どうやって見つけたか等。後に経緯も含め共有します。）	
【調べた内容】	